

市政を問う

一般質問
10名の議員登壇

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

1. ^{うみの}海野 ^{りゅうへい}隆平（無所属自由クラブ）…………… P14
○新型コロナワクチンの接種状況と今後の対応 ○静岡県熱海市の土石流災害と市内盛り土の実態
○学校教育における基本方針と考え方
2. ^{とくみね}徳峰 ^{かずなり}一成（日本共産党）…………… P15
○コロナ対策の取り組み強化 ○学校給食の無料化 ○今後の支所再編
3. ^{さこ}迫 ^{すぎお}杉雄（誠和会）…………… P16
○農業振興 ○教育振興
4. ^{すずき}鈴木 ^{えいいち}栄一（無所属自由クラブ）…………… P17
○スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）
5. ^{まつのした}松ノ下 ^{いずみ}いずみ（誠和会）…………… P18
○男女共同参画 ○生理の貧困 ○道路行政 ○農業公社
6. ^{くにち}九日 ^{かつのり}克典（創政会）…………… P19
○三期目の政治姿勢を問う ○地域振興住宅 ○コロナ対策
7. ^{いまづる}今鶴 ^{はるのぶ}治信（新生会）…………… P20
○市長の政治姿勢
8. ^{いわみず}岩水 ^{ゆたか}豊（新生会）…………… P21
○災害時の避難場所 ○宅地分譲事業 ○市長選挙を終えて
9. ^{はらだ}原田 ^{けんいちろう}賢一郎（そお幸喜会）…………… P22
○本庁・支所再編計画 ○繁殖雌牛導入保留対策事業 ○山間地水田における用排水路の保全管理
10. ^{みやさこ}宮迫 ^{まさる}勝（日本共産党）…………… P23
○敬老祝い金 ○国保税 ○支所の建設
※掲載以外の質問項目 ○公約実現に向けて





一般質問の様子

本市における 新型コロナワクチン 接種率は

市長 / 2回目まで終了した方は
57.0%である



うみの海野 隆平
(無所属自由クラブ)

問 危機的状況をどのように理解しているのか。

市長 県内では連日100人を超える新規感染者が続いており、医療提供体制が逼迫して、今が瀬戸際になりつつあると理解している。

問 曾於市内の感染者の状況について。

市長 昨年11月5日に1例目を確認して以来、8月25日までに70例の感染者を確認している。

問 感染者の症状と経過について。

市長 PCR検査時に自覚症状があった方は57人、なかった方は13人である。2週間から4週間程度で退院・退所されている。

問 新型コロナワクチンの集団接種と個別接種による接種者数と接種率は。

	接種1回目	接種2回目
8月25日現在		
集団接種	2,594人	2,625人
個別接種	19,505人	16,965人
合計	22,099人	19,590人
接種率	64.3%	57.0%

市長 次のとおりである。

問 静岡県熱海市の土石流災害と市内盛り土の実態について。

市長 大規模盛り土マップによると、財部町7カ所、大隅町6カ所、末吉町13カ所の合計26カ所となる。

問 盛り土の形態と古い盛り土はいつ頃の設置か。

市長 谷埋め型と腹付け型盛土に分類される。国や県の調査が終わっていないので、不明である。

問 長雨等による危険箇所は。また、山間部の建設残土による盛り土の崩れ点検はなされているか。

市長 曾於市は土砂災害危険箇所として58カ所指定されている。憶残土処分場については大雨警報の前に毎回現場点検をしている。

学校教育における基本方針と考え方

問 学校教育の方向性について。

教育長 最大の重点課題は学力向上である。生きて働く学力の育成に努めていく。学力とは、児童生徒が自立するために必要な人間

性・思考力・判断力・表現力・知識・理解等と捉えている。

問 ICT教育の充実と推進について。

教育長 児童生徒にたくさん使用させることが大切。活用の充実を図っていく。



ICT を活用した授業風景

ちょっとひとりごと

新型コロナの一日も早い収束と平常な生活に戻ることを願いたい!!



コロナ対策の 取り組み強化を



一般質問の様子

市長／必要なら、対策を講じたい

問

そうであるなら、

市長 内部で検討したが、そうならなかった。

問 来年度から学校給食の無料化を決断すべきではないか。

学校給食の無料化を



かんしょの収穫作業
(基腐病が心配)

市長 必要なら、対策を講じたい。

問 園芸農家、飲食業、生活が困難な方に対して、次の議会に、思いきった支援策を講じるべきではないか。



大隅の給食センター
(築後28年)

教育長 国の衛生基準の問題もある。指摘された点は検討したい。

問 来年度から14億1700万円の事業費で給食センター建設の計画がある。今後の子ども減や事業費の削減を考え、当面大隅の給食センターを併用する考えはないか。

市長 来年度予算で3分の1補助で進めさせていきたい。

2〜3回に分けての無料化を提案したい。

問 市長選挙の得票比は、五位塚候補4に対して、上村候補は3であった。この得票比からみて、大隅、財部町では五位塚候補が多かったとは必ずしも言えないのではないか。今後の支所再編は、こうした選挙結果や市民の融和を進める立場で、謙虚で慎重な対話や対応が大切ではないか。

今後の支所再編

市長 来年度から考えたい。

教育長 学校と協議して、来年度から考えた

問 学校や公共施設のトイレに、来年度から生理用品を配置すべきではないか。

市長 これまで支所再編は手順を踏んで進めており、支所再編が争点であったとは考えていない。

ちょっとひとりごと

学校給食の無料化は、時代の流れではないでしょうか。





一般質問の様子

曾於のユズを県内外にもっとアピールを



市長／廃園対策としてユズ園の取得の助成などを強化

問 今年度のユズ生産状況等と前年度との比較について伺う。

市長 今年度は長雨等の気候変動等で農産物に変化がみられる。ユズの生産見込みは、聞き取り調査で約1100tが見込まれる。

問 搾汁の販売、ユズ製品について、どのような対応であるか。

市長 搾汁した果汁販売はコロナ禍の影響を受けている。今後大手との取引につなげることに重要である。製品販売は、ふるさと納税の取り組みやアフターコロナを見込んで営業活動が必要である。

問 高齢化のユズ農家について今後の対応は。

市長 廃園対策としてユズ園の取引の助成等

を強化していく必要がある。また、収穫運搬などの重労働の軽減対策も検討する。



実るユズ

問 ユズ生産地として県内外にアピールし、販路開拓に努力すべきではないか。

市長 アフターコロナを見据え、食彩センターと協議を進める。



ユズ製品の陳列

教育振興

問 地域活動やコミュニケーションの希薄、伝統文化イベント等について、地域コミュニティ協議会との連携は。

市長 地域づくりの基本であり、地域コミュニティ協議会には地域活動等に積極的に取り組んでいただく。

問 アフターコロナについて、今後の教育はどのような対応がなされるか。

教育長 これまで制約されてきた教育活動を再開する。心の教育や教育相談等の更なる充実を図る。

問 本市におけるスポーツ振興アンケートは実施しているか。

社会教育課長 現在アンケートは実施していない。今後対応する。



スポーツ少年団の体力テストの様子

ちょっとひとりごと

コロナ禍収束を見据えて、地域のコミュニティや教育振興をおおいに議論すべきだ





スクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）について。
補助金の検討、支援はできないか。



一般質問の様子

市長／来年度は前向きに進めていきたい。

問 3町の稲作面積を伺いたい。

市長 末吉町437.5ha、大隅町430ha、財部町345.7ha、全体で12213.2haである。

問 曾於市から沖縄県への米の販売は。

市長 JAを通じて約5000俵である。



被害の様子

問 被害状況は。

市長 3割程度で発生が見られるようだが、

被害状況については把握できていない。

問 被害状況の現地調査、聞き取り調査はしていないのか。

農林振興課長 調査はしていない。

問 取り組んでいる対策は。

市長 技連会で発行している稲作ごよみ、また、JAの育苗講習会や検討会で防除を呼びかけている。



稚貝の集団

問 農業公社の農業機械によるジャンボタニシの苦情、トラブル等はないか。

農林振興課長 聞いていない。

問 昨年農業委員会より政策提言が提出された内容は。

農林振興課長 ジャンボタニシの被害防除対策、薬剤購入補助金の検討の要望があった。

問 回答は。

農林振興課長 技連会を中心に効率的な防除対策やチャシ等を作成した。

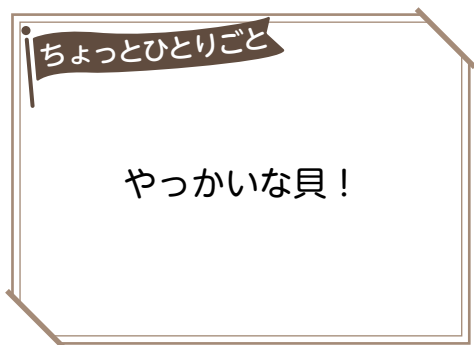
問 鳥獣被害対策、イノシシ対策には補助金が支給されているが、ジャンボタニシ対策に

も補助金の検討、支援はできないか。

市長 今年は無理でも、来年度は前向きに進めていきたい。



卵、毒がある。素手で触らないで。





一般質問の様子

曾於市において男女共同参画 は浸透しているか



市長／まだまだ十分とはいえない

問 各委員、審議委員など女性の数が少ないと思うが。

市長 令和10年度までに40%にする目標としている。

問 女性が活躍する社会にするためには何が必要か。

市長 環境整備・事業者と労働者双方の意識啓発が更に必要だと思う。地域活動では男性主導系であり、女性も積極的に参加できるように雰囲気作りが必要である。

生理の貧困

問 学校や公共施設に生理用品の配備は考えているか。

市長 学校では児童生徒が養護教諭へ相談できる態勢をとっており、

用品や下着等も準備している。

問 トイレレットペーパーと同じように配備できないか。

市長 今のところ様子を見ながら柔軟な方法をとっていきたい。

道路行政

問 市道正部・十字線、2力所の狭窄部設置後の状況は。

市長 慣れてくると減速しないで通る人もいる。看板の設置など今後の対策を考えていく。

問 市道下正ヶ峯・阿邪里線のスピード対策は。

市長 拡幅をして苦情は無いが今後の課題としておく。



整備が待たれる私道

問 2路線について減速の手段としてスピードハンプの設置はできないか。

市長 市内、都城などでの設置などはあまりない。今後慎重な判断が必要である。

問 民間の宅地分譲地内の共有道路に生コンなどの原材料支給はできないか。

市長 規則の見直しをして支援できるものはない。

農業公社

問 新規参入者事業は。

市長 今のところ計画は無いが、農業体験施設に中古の機械など準備して、希望があれば検討していく。

問 有機農業を実践していく若者を育てようと思わないか。

市長 曾於の有機堆肥を使い、原点に帰った農業を技術を持った方々と一緒に有機農業のまちとして頑張っていきたい。

ちょっとひとりごと

小さな声を
聞いてください





本市の未来図を公約以外で どのように描いているか

市長／市民の理解と協力をいただき
共に将来を考える



一般質問の様子

問 三期目の政治姿勢で本市の未来図をどのように描いているか。

市長 市民の理解と協力をいただき共に将来を考える。

問 人口減少が加速化しているが、一番の要因は。

市長 死亡数が出産数を大きく上回り、若年層の都市部への流出が要因と考える。

問 継続と謳っているが多選は何期目ぐらいを考えているか。

市長 5期目以上が多選と思う。

問 財部高校跡地の譲渡について県知事と会

談したと聞くが、結果を伺う。

市長 市の事業への協力をお願いした。

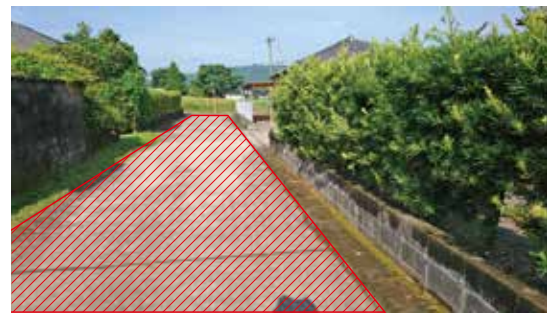
地域振興住宅

問 入居条件については点数制と聞いているが、その内容は。

市長 入居順位は選考基準と地域ごとの評価点で決めている。

問 既存の住宅において、出入口が民間所有の土地を使用している団地がある。市道に変更すべきではないか。

市長 来年度以降取得する。



住宅の出入口が民有地

コロナ対策

問 子ども同士の感染が増えているが、予防対策は徹底されているか。

教育長 危機感をもつて感染源や経路を絶つこと、密にならない授業形態の工夫、行事の検討等、自粛を通知し、徹底を図る。

問 学校の奉仕作業が密になるといふことで中止となり、処置はどうされるか。

教育長 学校の除草作業は、学校からの要請に応じてシルバー人材センターへの委託で対応する。



消毒の徹底

ちょっとひとりごと

見えない敵
コロナに負けるな！





一般質問の様子

住みよい曾於市をつくる 市民の会と市長との関係は



市長／2期目・3期目の市長選挙の推薦をいただいた。

市長の政治姿勢

問 市民の会は、市長後援会であるのか。

市長 支援団体であるが、選挙の時は、後援会として協力をもたらしている。

問 6月議会の私の一般質問の内容について、市民の会が、議会の倫理審査会の審査のため市民の署名を集めていると聞いているが、市長は、この事実を把握しているか。

市長 知っている。

問 私の一般質問は、会派を代表して、「市長・副市長3人が、入札参加有資格業社を市長公約・後援会加入・寄付依頼封筒を持参し

てあいさつ回りしたことは、公職選挙法違反の恐れがある」という内容であった。警察が、業社にその資料の提供を受けたことは事実である。子牛のモニユメントについての質問も市民の要望を代弁したものである。そして一番許せないことは、本会議中に私が、あたかもタブレットを他のことに不正利用しているという内容である。この事は、事実無根であり、何の証拠もないことをねつ造している。このことについては、法的措置をとることにしている。

市長は、このことを知っていたのか。

市長 市民の会が、この活動をしていることは、知っている。

問 議会制民主主義の言論弾圧に当たるのではないか。

市長 市民の会が、自主的にやっていることである。

問 議会は、自ら倫理条例を制定した。市長・副市長も自らを律する倫理条例を制定すべきでないか。

市長 今は、検討していない。



ちょっとひとりごと

言論の自由を強く望む！





災害避難箇所は

市長 / 20カ所を開設



一般質問の様子

月野校区避難所の改善

問 月野校区公民館が、避難所にできるよう早急の対策を。

市長 現在の状況のままでは、いけないので、県の事業で対応できないか検討していく。

問 末吉本庁舎では、一時避難所まで整備される。片や月野校区では、70人収容の校区公民館が使えず、18人収容の自治公民館では格差がある。県の事業だけでなく、市で改善する事業の取組みを要望する。

市長 財源を含め改善に努める。

宅地分譲事業

問 桜ヶ丘団地の残地活用策は。

市長 有効活用できないか時期を見て判断したい。

問 定住促進対策としての分譲地として民間に売却できないか。

市長 民間に分譲地として売却することがいいと考えていたので、市民の皆さんに販売できるように進めていく。

問 財部分譲地の販売計画は。

市長 24区画で1区画100坪〜120坪、一坪2万〜2万5000円の予定である。

問 1区画1000万円以上の工事費で、200万〜300万円

で販売することになるが、何年での販売を考えているか。

市長 おおむね2年で完売したい。議会をはじめ市民の協力をお願いしたい。

問 未利用の市有地を積極的に処分できないか。未利用地の価格を含めた公示を要望する。

市長 対策会議を早急に開き、対応していく。

公約実現に向けて

問 過去4年間の分譲計画では、24区画のうち8区画しか売れていない。成果ととらえられない。

市長 失策とは思わない。今後販売に努力していく。

ちょっとひとりごと

分譲地は、売れなければ何にもならない。





一般質問の様子

本庁・支所再編計画は大隅・財部両支所の市民サービス低下にならないか

市長／迅速で適切な窓口対応・サービスに努める



はらだ けんいちろう
原田 賢一郎
(そお幸喜会)



待ち望まれる大隅・財部支所の建替え



問 大隅・財部両支所の竣工はいつか。

市長 両支所ともに令和7年2月の竣工、4月の開庁予定である。

問 組織体制配置計画が示されたが、このことにより両支所の住民へのサービス低下にならないか。

市長 窓口業務はこれまでどおり支所でも対応していく。市民サービスの低下を招かないよう本庁職員が直接出向いて対応するなど、迅速で適切な窓口対応・サービス向上に努める。

繁殖雌牛導入保留 対策事業

問 5年以上繁殖牛として供用する必要があるが、理由なく売却した場合、その後3年間は補助金の交付を受けられないとある。5年以内に売却された対象牛をどのように確認しているか。

市長 育成牛・成牛妊娠牛セリ市の名簿により確認をしている。

問 違反が分かった場合でも次回の対象牛補助金を受領しないこと、違反を免れる事例があるようだが、是正すべきではないか。今後の対応策は。

市長 特に育成牛セリ市で販売される農家や年間15頭以上導入保留される多頭農家へは辞退牛を明確にするよう厳しく指導していく。

山間地水田における 用排水路の保全管理

問 大隅川路山地区から中須田木へ流れている水路の土砂の排除はできないか。

市長 耕作放棄地であ

ることから市単独災害復旧事業か応急作業委託で検討する。



用を成していない排水路

ちょっとひとりごと

市民サービスの低下を
招かないように





敬老祝い金は 振込みでなく 手渡しでの支給を

市長／アンケートを取るなど
再検討したい



一般質問の様子



問 令和3年度から敬老祝い金が、手渡し支給から口座振り込みになった。理由は何か。

市長 不在等により複数回の訪問、入院や施設入所の実態把握ができない、認知症等に伴う金銭トラブルの発生などがあり、民生委員、職員の負担軽減等を考慮して口座振り込みに変更した。

問 多くの市民から手渡しでの支給を求める声があるが。

市長 民生委員も交えて議論したい。振り込み、手渡し、どちらが良いかアンケートを取る方法もあると思うので検討したい。

18歳以下の均等割免除を

問 以前取り上げた「国保税18歳以下の均等割り免除」について、その後どうなったのか。

市長 本施策の実現に向け検討を続けているが、コロナ対策、国保財政への影響も懸念され、実現には至っていない。

問 曾於市では第3子誕生で祝金を贈呈している。その一方で、何

の所得もない18歳以下の子供たちに、国保税の均等割りを課している。矛盾している。

市長 私も矛盾を感じている。子育て支援の環境づくりは大事なことである。ふるさと納税の子育て支援でできないか検討したい。

財部支所の建替え

問 財部支所の建設場所はどこを考えているのか。

市長 現在の支所庁舎敷地内か、中央公民館敷地内を考えている。

問 財部の図書館・郷土館は築年数35年と老朽化している。図書館・

郷土館の建て替えも議論すべきでは。

市長 検討委員会では総合的な検討をお願いしたい。



財部の図書館・郷土館

ちょっとひとりごと

国保税 18歳以下
均等割り免除は
大きな子育て支援策です

